

学校だより 第204号(4-9)

け や き

櫻



令和5年1月13日

横浜市立永田中学校
横浜市南区永田みなみ台7-1
TEL045-715-5511

Here, There and Everywhere <平和を願って>

校長 永山 泰士

保護者の皆様、地域の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は永田中学校の生徒の成長を温かく見守っていただき、誠にありがとうございました。改めてお礼申し上げます。本年も引き続き皆様のご理解ご協力ご支援を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。今年も永田中学校はさまざまな教育活動を通して、生徒たちの夢や希望を叶えるために丁寧に支援をしていきたいと考えています。

さて、本校では2月にユニセフ募金に取り組みます。1日を1ドル25セント未満で暮らす人がこの地球上に8億人以上います。5歳までに亡くなる子どもが年に520万人。小学校に通えない子どもが5900万人。私たちと同じ地球で暮らす人々が生命の危険、貧困にあえいでいます。この美しい地球(ほし)にむしばむ貧と富、幸と不幸の落差は極めて大きいと言わざるを得ません。これからも生徒たちが世界の現実を知り、自分たちには何ができるのかを思考し、行動していく学習活動をこれからも模索していきたいと考えています。

ファシズムに立ち向かったチャップリンの映画「独裁者」のヒューマニズムあふれる結びの演説を今の生徒たちは知っているでしょうか。胸に響く言葉です。

「わたしたちは、みんなおたがい助け合いたいと望んでいます。……わたしたちは、他人の不幸によってではなく、他人の幸福によって、生きたいのです。」

また、数年前に私は、NHKの「クローズアップ現代」という番組に出演していたスリランカ生まれの「にしゃんた」氏の言葉にはっとさせられました。「共に楽しむ共楽、共に学ぶ共学、共に育てる共育……共に笑う共笑(ともえ)」と述べていました。これからの日本社会が外国の方々とどうかかわっていくのがよいのかという文脈の中での話でした。私はこの言葉には他者とのかかわり方において最も大切なことが含まれていると感じました。

自分の幸福がだれかの不幸の上に成り立っていないかを私たちは深く考えなくてはなりません。だれかを攻撃することで自分を保持していないか。ひとつの笑いがだれかの悲しみになっていないか。共に笑うということが本当にできているのか。私たちは「気づく」ことが大切です。今年も本校では「いじめや暴力をなくす(=平和)」ことに学校をあげて取り組んでいきます。「だれもが安心して豊かに生活できる(=平和)」ように私たち教職員は生徒とともに全精力を傾けていきます。「いじめは人権侵害行為であり、絶対に許されない！」ということを常に訴え続けていきます。

生徒一人ひとりが自ら作成した「人権標語」を有言実行していくことで永田中学校の「平和」が保たれます。一人ひとりの「人権標語」に接するたびに永田中学校の「平和」を希求し続けていくことを校長として改めて決意いたしました。

そして今年も世界じゅうで、**Here, There and Everywhere** <あちらこちらいたるところで>、平和が求められています。令和5年の年頭、この原稿を書くにあたり、このフレーズが私の心に浮かびました。この歌の歌い出しは、♪ **To lead a better life I need my love to be here** ♪

<より良い人生を送るためにここに愛を必要としています> by The Beatles

保護者の皆様、地域の皆様、これからも永田中ならびに永田中ブロックの小中学生のために、お力添えをいただけますよう、よろしくお願ひいたします。